

極
昭和十五年十一月

大本宮
政府開
連絡會議

0001

REEL No. A-0216

0216

アジア歴史資料センター

107

極秘

日支新關係條約ニ關スル

政府 閣連絡會議要領案 一五二四

第一 目的

昭和十五年十月一日日支兩國交渉委員會ニ於テ妥結イニシアルヲ了セ
ル日華滿共同宣言案、基本條約案並同附屬文書案ニ關シ政府ハ大本營
同ノ合意ヲ求メントスルニ在リ

第二 要領

一、問題 一、昭和十五年十月一日日支兩國交渉委員會ニ於テ妥結イニ
シアルヲ了セル日華滿共同宣言案、基本條約案並同附屬
文書案並同附屬文書案ニ關シ政府ハ大本營
同ノ合意ヲ求メントスルニ在リ
昭和十五年十一月九日

一 日程

昭和十五年十一月九日

内

B5 マイライター用紙

0002

三 會議參集者

政府側

總理、外相、藏相、陸相、海相、責任相
幹事、總務長官、書記官長、外、藏、陸、海各局長、
局長、興亞院政務部長
兩總長、次長、作戦部長

大本營側

兩總長、次長、作戦部長

四 議事要領

- 一、總理ヨリ條約締結ニ關スル根本方針
- 二、外相ヨリ條約締結ニ關スル経緯並逐條説明
- 三、大本營ヨリ條約ニ關スル意見開陳並同全案ノ處理要領提呈
- 四、興亞院總務長官ヨリ條約及之カ締結ニ關連スル政治經濟文化關係處理要領説明

件提呈理由說明

内

開

B5 マイライター用紙

0003

極秘

大本營 府間連絡會議要領案

一五 一一、四

第一 目的

昭和十五年十月一日日支兩國交渉委員間ニ於テ妥結イニシアルヲ了セ
ル日華滿共同宣言案、基本條約案並同附屬文書案並之ニ伴フ時局全般
ノ處理要綱ニ關シ大本營、政府間ノ合意ヲ求メントスルニ在リ

第二 要 領

一、議題 一、昭和十五年十月一日日支兩國交渉委員間ニ於テ妥結イニ
シアルヲ了セル日華滿共同宣言案、基本條約案並同附屬
文書案並之ニ伴フ時局全般ノ處理要綱

二、日程 昭和十五年十一月九日

三、會議參集者

大本營側 兩總長、次長、作戰部長

0004

0005

政府側 總理、外相、藏相、陸相、海相、無任相

幹事、總務長官、書記官長、外、藏、陸、海各局長、
與亞院政務部長

四、議事要領

- 一、總理ヨリ條約締結ニ關スル件ノ提案理由説明
- 二、外相ヨリ條約締結ニ關スル經濟並逐條説明
- 三、大本營ヨリ條約ニ關スル意見開陳並時局全般ノ處理要綱提案
- 四、與亞院總務長官ヨリ條約及之カ締結ニ關連スル政治經濟文化關係
處理要領説明

二作我之関之件

内
閣

日本標準規格B5(十四行罫)

0013

三、綜合を淨力ノ強化ニ関スル件
^{自國} 其ノ綜合を淨力ヲ強化スル為ニ皇土
^{皇土} 其ノ綜合を淨力ヲ強化スル為ニ皇土
 之由國就中皇軍占據地域ノ生産並貿易ヲ
 略奪ニシ之ヲ我方ニ於テ利用スルト共ニ其ノ敵側
 利用ヲ極力阻止スルモノトス

内
閣

日本標準規格B5(十四行罫)

0012

四 新中央政府指導ニ関スル件

新中央政府ノ承認ニ伴ヒ 皇軍ハ日支新關係條約

ニ準據シ 茲ニ該政府ヲ育成強化シテ ヲレテ一意

帝軍ノ抗日能力ヲ底仕施并 並我軍合戦力ノ緊

急強化ニ付要ナル諸施策ニ協力セラルル如クノ指導

スルモノトス

之ヲ為 新中央政府ヲレテ 分工合作ニヨリ 其ノ

内閣

日本標準規格B5(十四行算)

0014

軍下ニ官軍占據地域ニ於テ 政治力ノ強化ニ重点ヲ
置クニ付 皇軍ノ抗日能力ヲ底仕施并 並我軍合戦力ノ緊
急強化ニ付要ナル諸施策ニ協力セラルル如クノ指導
スルモノトス

内閣

日本標準規格B5(十四行算)

0015

別紙

五、対共政務機構、統合強化ニ関スル件

我中央政府、承認ニ伴ヒ我々対共政務指導機構

ハ各諸國ニ即志スル共ニ其ノ機能ヲ強化ニ資スル

セシムルニ非ズ一元統的ナラシムルヲ統合強化スルモノ

トス

六、対共政務力ノ活用ニ関スル件

我々等世界各邦終極ニ建設ノ為ニ努力スル者ナリ之ニ

内閣

日本標準規格B5(十四行罫)

0016

七、対共防共ニ関スル件

共同防共ニ関シテハ皇國ハ我々中央政府ト緊密ニ連携

協力シ眼目同標ナル中國共產黨及中玉共産軍

ヲ徹底的ニ剝滅スルヲ指図スルモノトス 但玉際

關係ニ對シテ日蘇外交関係ト視シ合セ適宜考慮ス

モノトス

内閣

日本標準規格B5(十四行罫)

0017

極秘

◎政府、大本營閣連絡會議ニ於ケル總理大臣口述案

本日ハ支那新政府ト阿都大使トノ間ニ交渉妥結ヲ見タル諸條約案並ニ之ニ關聯スル事項ニ就テ御請リ致シ度イト存シマス
元來新政府ニ對シテハ帝國ハ條約調印ヲ以テ該政府ヲ承認スルノ義
前ヲ以テ進ミ來リマシタ關係上此條約ニ調印スルコトトナレハ愈々
新ナル支那政府ヲ承認スル取リトナルノチアリマスカラ、此際一
言申上ケマシテ統帥部ノ御瞭解ヲ得度キコトハ今後ニ於ケル支那事
業完遂ノ腹構ヘノ點テアリマス以下之ニ關シ申上ケマス

「別紙」

0018

別紙

一事變完遂ノ性格決定ニ就テ

帝國政府ハ昭和十三年一月十一日御前會議決定ノ支那事變處理根本方針並昭和十三年十一月三十日御前會議決定ノ日支新關係調整方針ニ基キ從來重慶政權ニ對シ強烈ニ武力的壓力ヲ加フル一方其ノ反省ヲ促シ依テ以テ支那ノ全面的屈伏ヲ強要スルト共ニ其ノ成ラサル場合ニ處スル爲メ新ナル政治勢力ノ育成ヲ企圖シ之ヲ實行シ來レリ
然ルニ現下ノ情勢ニ於テハ帝國ハ重慶政權ヲ擯滅スルニ足ル陸上武力進攻ヲ斷行セサル限り短期間ニ之カ屈伏至難ナルヤニ察セラレヌ一方南京ニ樹立セラレタル新政府ハ逐次其ノ政治力ヲ増大シ來リツツアルノミナラス該政府ト帝國使臣トノ間ニ行ハレタル條約交渉ハ今ヤ政府ニ於テ之カ採否ヲ決スヘキ時機ニ到達シアリ他方世界情勢ノ變化並ニ即應スル帝國世界政策ノ企圖遂行ノ爲メニハ帝國ノ國防彈發力ノ恢復強化ヲ必要トスルヤ切ナルモノアリ

0019

彼上ノ如キ形勢下ニ於ケル支那事變ノ完遂ハ人命ト鐵量ノ異常ナル消
耗ヲ回避セサル短期戦ニ代フルニ帝國ノ世界政策トノ關連ニ於テ政治
經濟力ヲ綜合活用スル眞ノ長期戦ニ徹底スルヲ要スルモノト認メラル、
之カ爲メニハ速ニ新政府ヲ承認シ其ノ政治力ヲ強化培養シ之ヲシテ我
カ戦争行爲ノ目的完遂ニ協力セシムルト共ニ支那ニ於ケル帝國ノ政戰
兩部面ヲシテ眞ニ長期持久態勢ニ在ラシメ皇軍占據地域ノ經濟力強化
特ニ帝國國防資源ノ開發ヲ促進シ兵ヲ用ヒテ兵ヲ養フノ思想ニ立脚シ
テ全般的國力ノ培養ヲ企圖實行スルヲ要ス
如斯シテ帝國ノ國防彈發力ヲ強化シ時間ノ活用ニヨル事變ノ完遂ニ進
ミアル間重慶ノ屈伏アルニ於テハ更ニ新ナル處斷ニ出ツヘキモノト思
考セラル

0020

之ヨリ外務大臣ヨリ條約交渉ニ關スル條件ヲ申シ上ケマス

0021

極秘

◎政府、大本營閣連絡會議ニ於ケル總理大臣口述案

本日ハ支那新政府ト阿部大使トノ間ニ交渉妥結ヲ見タル請條約案並ニ之ニ關聯スル事項ニ就テ御請リ致シ度イト存シマス
元來新政府ニ對シテハ帝國ハ條約調印ヲ以テ該政府ヲ承認スルノ義前ヲ以テ進ミ來リマシタ關係上此條約ニ調印スルコトトナレハ直キ新ナル支那政府ヲ承認スル度取リトナルノテアリマスカラ、此際一言申上ケマシテ統帥部ノ御諒解ヲ得度キコトハ今後ニ於ケル支那事變完遂ノ度構ヘノ點テアリマス以下之ニ關シ申上ケマス

「別紙」

0022

別紙

一事變完遂ノ性格決定ニ就テ

帝國政府ハ昭和十三年一月十一日御前會議決定ノ支那事變處理根本方針並昭和十三年十一月三十日御前會議決定ノ日支新關係調整方針ニ基キ從來重慶政權ニ對シ強烈ニ武力的壓力ヲ加フル一方其ノ反省ヲ促シ依テ以テ支那ノ全面的屈伏ヲ強要スルト共ニ其ノ成ラサル場合ニ處スル爲メ新ナル政治勢力ノ育成ヲ企圖シ之ヲ實行シ來レリ
然ルニ現下ノ情勢ニ於テハ帝國ハ重慶政權ヲ續減スルニ足ル陸上武力進攻ヲ斷行セサル限り短期間ニ之カ屈伏至難ナルヤニ察セラルル一方南京ニ樹立セラレタル新政府ハ逐次其ノ政治力ヲ増大シ來リツツアルノミナラス該政府ト帝國使臣トノ間ニ行ハレタル條約交渉ハ今ヤ政府ニ於テ之カ採否ヲ決スヘキ時機ニ到達シアリ他方世界情勢ノ變化並ニ即應スル帝國世界政策ノ企圖遂行ノ爲メニハ帝國ノ國防爆發力ノ恢復強化ヲ必要トスルヤ切ナルモノアリ

0023

級上ノ如キ形勢下ニ於ケル支那事變ノ完遂ハ人命ト鐵量ノ異常ナル消
耗ヲ回避セサル短期戰ニ代フルニ帝國ノ世界政策トノ關連ニ於テ政治
經濟力ヲ綜合活用スル眞ノ長期戰ニ徹底スルヲ要スルモノト認メラル、
之カ爲メニハ速ニ新政府ヲ承認シ其ノ政治力ヲ強化培養シ之ヲシテ我
カ戰爭行爲ノ目的完遂ニ協力セシムルト共ニ支那ニ於ケル帝國ノ政戰
兩方面ヲシテ眞ニ長期持久態勢ニ在ラシメ皇軍占據地域ノ經濟力強化
特ニ帝國國防資源ノ開發ヲ促進シ兵ヲ用ヒテ兵ヲ養フノ思想ニ立脚シ
テ全般的國力ノ培養ヲ企圖實行スルヲ要ス
如斯シテ帝國ノ國防彈發力ヲ強化シ時間ノ活用ニヨル事變ノ完遂ニ進
ミアル間重慶ノ屈伏アルニ於テハ更ニ新ナル處斷ニ出ツヘキモノト思
考セラル

0024

之ヨリ外務大臣ヨリ條約交渉ニ關スル件ヲ申シ上ケマス

0025

極秘

陸部ノ内務 3 陸

新中央政府承認ニ伴フ支那事變處理ニ關スル件

一、事變完遂方針ノ確定ニ關スル件

帝國政府ハ昭和十三年一月十一日御前會議決定ノ支那事變處理根本方針ニ基キ從來重慶政權ニ對シ強烈ニ武力的壓力ヲ加フル一方其ノ反省ヲ促シ依テ以テ支那ノ全面的屈伏ヲ強要スルト共ニ其ノ成ラサル場合ニ處スル爲メ新ナル政治勢力ノ育成ヲ全國シ之ヲ實行シ來レ

然ルニ現下ノ情勢ニ於テハ帝國ハ重慶政權ヲ攘滅スルニ足ル陸上武力進攻ヲ斷行セサル限リ短期間ニ之カ屈伏至難ナルヤニ察セラレ一方南京ニ樹立セラレタル新政府ハ逐次其ノ政治力ヲ増大シ來リツツアリ、他方世界情勢ノ變化ハ帝國ノ國防發力ノ恢復強化ヲ必要トスル段階ニ到達シアリ

故上ノ如キ形勢下ニ於ケル事變ノ完遂ハ人命ト鐵量ノ異常ナル消耗

ヲ回避セサル短期戦ニ代フルニ時間ト政治經濟力トヲ綜合活用スル眞ノ長期戦ニ徹底スルヲ要スルモノト認メラル、之カ爲メ新政府ノ政治力ヲ強化培養スルト共ニ支那ニ於ケル帝國ノ政戰兩面ヲシテ眞ニ長期持久態勢ニ在ラシメ陸軍占據地域ノ經濟力強化特ニ帝國國防資源ノ開發ヲ促進シ兵ヲ用ヒテ兵ヲ養ヒ尙全般的國力ノ培養ヲ全國實行スルヲ要ス

如斯シテ帝國ノ國防發力ヲ強化シ時間ノ活用ニヨル事變ノ完遂ニ進ミアル間重慶ノ屈伏アルニ於テハ更ニ新ナル處斷ニ出ツヘキモノトス

ニ作戦ニ關スル件

0028

三、綜合經濟力ノ強化ニ關スル件

皇國ハ其ノ綜合經濟力ヲ強化スル爲メ皇國ノ經濟圈就中皇軍占據
地域ノ生産並貿易ヲ旺盛ニシ之ヲ我方ニ於テ利用スルト共ニ其
ノ敵側利用ヲ極力妨害阻止スルモノトス

0029

四 新中央政府指導ニ關スル件

新中央政府ノ承認ニ伴ヒ皇國ハ日支新關係條約ニ準據シ益々該政府ヲ育成強化シ名實共ニ支那ノ中央政府タラシメ之ヲシテ一意帝國ノ抗日勢力ノ屈伏施策竝我綜合戦力ノ緊急強化ニ必要ナル諸施策ニ協力セシムル如ク指導スルモノトス
之カ爲新中央政府ヲシテ分工合作ニヨリ其ノ政治力ノ強化ニ重點ヲ注カシメ重慶政權ト活潑ナル鬭争ヲ展開セシメ依ツテ以テ新中央政府側以外ノ諸勢力ヲ逐次新中央政府ニ抱攝統合セシムルト共ニ其ノ政治力ヲ活用スル爲メ我方ノ無用ノ干涉ヲ避クルモノトス

0030

五 對支政務機構ノ統合強化ニ關スル件

新中央政府ノ承認ニ伴ヒ我カ對支政務指導機構ハ前諸項ノ遂行ニ即應スルト共ニ其ノ機能ヲ強力ニ發揮セシムル爲メ在支諸機關ヲ一元的ナラシムル如ク統合強化スルモノトス

0031

六 國際政治力ノ活用ニ關スル件
獨伊等世界新秩序建設ノ國家群ヲシテ帝國ニ隨ヒ速ニ新中央政府
承認ノ方途ニ出テシムル如ク措置ス

0032

七 共同防共ニ關スル件

共同防共ニ關シテハ皇國ハ新中央政府ト緊密ニ協力シ眼前ノ目標
タル中國共產黨及中國共産軍ヲ徹底的ニ剿滅スル如ク指導スルモ
ノトス但國際關係殊ニ日蘇國交調整ト腕ミ合セ適宜考慮スルモノ
トス

0033

別紙
極秘

新中央政府承継ニ伴フ支那事變處理ニ關スル件
重要完遂方針ノ確定ニ關スル件
昭和十三年一月十一日御前會議決定ノ支那事變處理根本方針ニ基キ從來重慶政權ニ對シ強烈ニ武力的壓力ヲ加フル一方其ノ反省ヲ促シ依テ以テ支那ノ全面的屈伏ヲ強要スルト共ニ其ノ成ラザル場合ニ處スル爲メ新ナル政治勢力ノ育成ヲ企圖シ之ヲ實行シ來レ

然ルニ現下ノ情勢ニ於テハ帝國ハ重慶政權ヲ擁護スルニ足ル體上武力進攻ヲ斷行セサル限り短期間ニ之カ屈伏至難ナルヤニ察セラルル一方南京ニ樹立セラレタル新政府ハ逐次其ノ政治力ヲ増大シ來リツ

ツ、他方世界情勢ノ變化ヲ帝國ノ國防増強力ノ恢復強化ヲ必要トスル關係ヲ有スルニ於テハ、
彼上ノ如キ形勢下ニ於ケル事變ノ完遂ハ人命ト鐵血ノ異常ナル消耗

該府ト
決スヘキ時機ニ到ラズ
行ハルニ條約交渉ハ今や政府ニ於テ之カ採否ヲ

0035

フ回避セサル短期戦ニ代フルニ轉シ、政治經濟力ヲ綜合活用スル
眞ノ長期戦ニ徹底スルヲ要スルモノト認メラル、之カ爲メ新政府
政治力ヲ強化増強スルト共ニ支那ニ於ケル帝國ノ政權兩面ヲシテ
眞ニ長期持久態勢ニ在ラシメ、軍占據地域ノ經濟力強化轉ニ帝國國
防資源ノ開發ヲ促進シ兵ヲ用ヒテ兵ヲ養フ、
國實行スルヲ要ス
如斯シテ帝國ノ國防増強力ヲ強化シ時間ノ活用ニヨル事變ノ完遂ニ
進ミアル間重慶ノ屈伏アルニ於テハ更ニ新ナル處斷ニ出ツヘキモノ
ト思フベシ

帝國世界政策トシテ
帝國世界政策トシテ

0034

政府本部内閣連合会成立の件

條約系提出理由

俟て大臣ヨリ

席五ハ

別紙

正

帝ハ此際皇ノ七期我ヲ治スル所改訂ノ氣思シ其治力

ヲ此化培養シテ之ヲ我々方ノ善美道ノニ協力セシメテ

ニ出スルニ付要ナリト見ス

後ヲ改訂ハ別紙條約系ニ付シテ漏印係治ノ手振ヲ執テ

りスニナリ

尤モ條約漏印係ニ至リテハ是レニ於テハ新ナリ

内閣

日本標準規格B5(14行)

336

極秘

拾部ノ内第 8 號

提案理由

(大本營ヨリ)

新政府ヲ承認スルニ至ルモ該政府ノ實力ハ直ニ以テ支那事變完遂上ニ於ケル支那ノ全責任ヲ負擔シ得サルノミナラス重慶政權ノ抗爭ハ尙ホ執拗ニ繼續セラルヘク他方大東亞共榮圈建設ヲ基調トスル帝國ノ世界政策ノ遂行ノ爲メニハ帝國ノ國防彈發力ノ恢復強化ヲ必要トシ帝國ハ内外各般ニ亙リ厲ニ長期持久方策ノ實行ニ徹底スルヲ要スルモノト認メラル而シテ條約締結ニヨリ新政府ヲ承認スルモ重慶屈服ノ既定方針ニハ何等ノ變化ナク之カ爲メニハ世界政策遂行上必要トスル帝國國防彈發力ノ保有ヲ妨ケサル限度ニ於テ政戰兩略ヲ盡シテ時間ノ活用ニヨリ本目的ヲ達成スルヲ要ス依テ今後ニ於ケル事務局處理要綱ヲ別冊ノ如ク策定スルコトト致シ度シ

0042

極秘

拾部ノ内第 7 號

提案理由

(大本營ヨリ)

新政府ヲ承認スルニ至ルモ該政府ノ實力ハ直ニ以テ支那事變完遂上ニ於ケル支那ノ全責任ヲ負擔シ得サルノミナラス重慶政權ノ抗爭ハ尙ホ執拗ニ繼續セラルヘク他方大東亞共榮圈建設ヲ基調トスル帝國ノ世界政策ノ遂行ノ爲メニハ帝國ノ國防彈發力ノ恢復強化ヲ必要トシ帝國ハ内外各般ニ亙リ厲ニ長期持久方策ノ實行ニ徹底スルヲ要スルモノト認メラル而シテ條約締結ニヨリ新政府ヲ承認スルモ重慶屈服ノ既定方針ニハ何等ノ變化ナク之カ爲メニハ世界政策遂行上必要トスル帝國國防彈發力ノ保有ヲ妨ケサル限度ニ於テ政戰兩略ヲ盡シテ時間ノ活用ニヨリ本目的ヲ達成スルヲ要ス依テ今後ニ於ケル事務局處理要綱ヲ別冊ノ如ク策定スルコトト致シ度シ

0043

10
師
70

抄

四一五九一五

締
締
條約及之方針、團結之政治、文化、國際、外交、要領

(此項院務長及改定)

内閣

日本標準規格B5(十四行罫)

004A

第一政治外交之關係

支那ニ対スル我カ政治指導ハ日支關係條約ニ基キ
我カ立場及交渉上ノ要域、設是ヲ確保スルニ其ノ
政府ヲテ日滿ハ一体ノ精神ヲ以テ我カ可成先逐ニ協
カセシムルモノトス
之カ為メ、締結ハ右要域ノ性質、程カニ應ジ我カ方ヨリ必要
ナル指導ヲ行フトモ、支那側、新中、新中央政府ノ政治力
ヲ發揮セシムルモノ、無用ノ干渉ヲ避ルニストス

内閣

日本標準規格B5(十四行罫)

0045

3

皇
 皇ノ治統ナル事ヲ展開セシメ 依リ以テ新中央政府
 以外ノ勢力ヲ逐次 新中央政府ニ抱攝統合セシムル事ヲ
 務メテ之ヲ
 我カ方其政治力ヲ發揮セシムル事ヲ最モ第一ニシテ
 障ルモノトス

内閣

日本標準規格B5 14行罫

0047

2

政治外交
 帝國ハ其ノ中中央政府ヲ承認シ自支那ノ條件ヲ準據シ
 蓋シ該政府ヲ首成強化シ之ヲシテ名實共ニ支那ノ中央政府
 トシテ以テ一意 帝皇ノ抗日勢力ノ屈伏施策並ニ我保合戰
 カノ緊急強化ニ協力セシムルコトノ指導ヲスルモノトス
 之カ爲メ中央政府ヲシテ其ノ施政ノ重点ヲ分工合作ニヨリ
 先ツ我占據地域ニシテ
 政治力強化ニ置カメ 重慶政權ニ対シテハ我カ方ト協
 漢達ノ

内閣

日本標準規格B5 14行罫

0046

三
共同防共ニ關スル件
共同防共ニ關シテハ、^{新中央政府}新中央政府ト緊密ニ協力シ眼前ノ目標
タル中國共產黨及中國共産軍ヲ徹底的ニ剿滅スル如ク指導スルモ
ノトス但國際關係殊ニ日蘇國交調整ト腕ミ合セ適宜考慮スルモノ
トス

0048

四
國際政治力ヲ活用ニ關スル件
獨伊等世界新秩序建設ノ國家群ヲシテ帝國ニ隨ヒ速ニ新中央政府
承認ノ方途ニ出テシムル如ク措置スルヲ以テ
支持

0049

支那の関税

支那勅令(支那)古橋(支那)ニ於ては日滿支三國の協定
 画力ノ増加ヲ防標トシ(諸般の事情あり) 我カ軍事行動ヲ容易トシ
 此ル(支那)我カ国防を痛ニ直接に要(支那)生(支那)産及貿易ヲ集中
 發揚シ(支那)之ヲ妨害ス我カ力ニ於テ吸引利用スルトス
 其ノ敵例利用ニ對シテハ極力之ヲ妨害阻止ノ手段
 ヲ講ジ以テ我カ国防を自力(長期)自給強化ニ導クニトス
 其ノ重要(支那)對テは極力圧迫ヲ施スルニトス

内閣

日本標準規格B5・十四行算

0050

7

我カ指(支那)示(支那)再編成スルニトス
 之カ為メ(支那)政治(支那)外交(支那)支那(支那)全般(支那)
 我カ指(支那)示(支那)再編成スルニトス

内閣

日本標準規格B5・十四行算

0051

8

三

對支政務機構ノ統合強化ニ關スル件

新中央政府ノ承認ニ伴ヒ我カ對支政務指導機構ハ前諸項ノ遂行ニ
即應スルト共ニ其ノ機能ヲ強力ニ發揮セシムル爲メ在支諸機關ヲ
一元的ナラシムル如ク統合強化スルモノトス

0052-1

REEL No. A-0216

0250

アジア歴史資料センター

極秘

昭、一五、一一、五

條約及之カ締結ニ關聯スル政治經濟文化關係處理要領

(興亞院總務長官說明)

内閣

B5 タイプライター用紙

0053

第一、政治外交ニ關スル件

一、支那ニ對スル我カ政治指導ハ日支新關係條約ニ基キ我カ國防及經濟

上ノ要域設定ヲ確保スルト共ニ新中央政府ヲシテ日滿支一體ノ精神

ヲ以テ我カ舉動完遂ニ協力セシムルモノトス

之カ爲メ帝國ハ右要域ニ對シ夫々其ノ性質程度ニ應ジ我カ方ヨリ必

要ナル指導ヲ行フト雖支那側就新中央政府ノ政治力ヲ發揮セシム

ル爲メ無用ノ干渉ヲ避クルモノトス

三、帝國ハ益々新中央政府ヲ育成強化シ之ヲシテ名實共ニ支那ノ中央政府タ

ラシメ以テ一意帝國ノ抗日勢力ノ屈伏並我綜合戦力ノ緊急擴張

強化ニ協力セシムルコトヲ指導スルモノトス

之カ爲メ新中央政府ヲシテ其ノ施政ノ重點ヲ分工合作ニヨリ先ツ我

占據地域ニ於ケル政治力ノ浸透強化ニ備カシメ重慶政權ニ對シテハ

我カ方ト密ニ連絡シ活動ナル圖算ヲ展開セシメ依ツテ以テ新中央政

府以外ノ勢力ヲ逐次新中央政府ニ統合把握セシムル如ク指導スルモ

内閣

B5 タイプライター用紙

0054

ノトス

三、共同防共ニ關シテハ帝國ハ支那側ト緊密ニ協力シ眼前ノ目標タル中國共產黨及中蘇共産軍ヲ徹底的ニ剿滅スル如ク指導スルモノトス但國際關係ニ日蘇國交關係ト既ニ合セ適宜考慮スルモノトス
四、獨伊等世界新秩序建設ノ國家群ヲシテ帝國ニ隣トシテ積極的新中央政府支持ノ方途ニ出テシムル如ク措置スルモノトス

0055

B5 タイプライター用紙

内閣

第二、經濟ニ關スル件

一、支那ニ於ケル經濟指導ハ日滿支三國ノ綜合國力ノ増加ヲ指標トシ諸般ノ經濟行爲ヲ我カ軍事行動ヲ容易ナラシムルコト並ニ我カ國防經濟ニ直接必要トスル物資ノ生産及貿易ニ集中發揚シ之ヲ我カ方ニ於テ最高度ニ吸引利用スルト共ニ其ノ設備利用ニ對シテハ權力之ヲ妨害阻止ノ手段ヲ講シ以テ我カ國防經濟力ノ長期自給強化ニ寄與スルト共ニ重慶側ニ對スル經濟壓迫ヲ強化スルモノトス
之カ爲メ我カ軍事政治外交及支那在來ノ習性等ヲ勘案シ支那ニ關スル經濟ノ全般ヲ我カ指導權ノ下ニ再編成スルモノトス

0056

B5 タイプライター用紙

内閣

第三、對支政務機構ノ統合強化ニ關スル件
 新中央政府ノ承認ニ伴ヒ我カ對支政務指導機構ハ前緒項ノ進行
 ニ即應スルト共ニ其ノ機能ヲ強力ニ發揮セシムル爲メ在支諸機
 關ヲ一元的ナラシムル如ク統合強化スルモノトス

0057

155 タイプライター用紙

内閣

極秘

政府大本營閣連絡會議ニ對スル條約案提出理由(總理大臣ヨリ)

帝國ハ昭和十三年一月十一日御前會議決定ノ支那事變處理根本方針並
 昭和十三年十一月三十日御前會議決定ノ日支新關係調整方針ニ基キ從
 來重慶政權ニ對シ強烈ニ武力的壓力ヲ加フルト共ニ新ナル政治勢力ノ
 育成ヲ企圖シ政敵兩略ヲ盡シ急速ニ支那ノ全面的屈伏ヲ強要シ來レリ
 然ルニ現下ノ情勢ニ於テハ帝國ハ重慶政權ヲ壊滅スルニ足ル陸上武力
 進攻ヲ漸行セザル限り短期間ニ之カ屈伏至難ナルヤニ察セララルル一
 南京ニ樹立セラレタル新政府ハ遂次其ノ政治力ヲ増大シ來リツツアル
 ノミナラス該政府ト帝國使臣トノ間ニ行ハレタル條約交渉ハ今ヤ政府
 ニ於テ之カ採否ヲ決スヘキ時機ニ到達シアリ他方世界情勢ノ變化並之
 ニ即應スル帝國世界政策ノ企圖遂行ノ爲メニハ帝國ノ國防彈力ノ恢
 復強化ヲ必要トスルヤ切ナルモノアリ
 帝國ハ此際眞ノ長期戰ヲ決意シ新政府ヲ承認シ其ノ政治力ヲ強化培養

0058

155 タイプライター用紙

内閣

シテ之ヲシテ我カ方ノ專變遂行ニ協力セシムルノ方途ニ出ツルコト必
要ナリト認メラル
依ツテ政府ハ別紙條約案ニ對シ調印締結ノ手續ヲ執ラントスルモノナ
リ
尤モ條約調印後重慶ノ屈伏アルニ於テハ更ニ新ナル處斷ニ出ツヘキコ
ト勿論ナリ

0059

内閣

B5 タイプライター用紙

極秘

政府大本營閣連絡會議ニ對スル條約案提出理由(總理大臣ヨリ)

帝國ハ昭和十三年一月十一日御前會議決定ノ支那專變處理根本方針並
昭和十三年十一月三十日御前會議決定ノ日支新關係調整方針ニ基キ從
來重慶政權ニ對シ強烈ニ武力的壓力ヲ加フルト共ニ新ナル政治勢力ノ
育成ヲ企圖シ政敵兩略ヲ盡シ急速ニ支那ノ全面的屈伏ヲ強要シ來レリ
然ルニ現下ノ情勢ニ於テハ帝國ハ重慶政權ヲ撤滅スルニ足ル國上武力
進攻ヲ斷行セサル限り短期間ニ之カ屈伏至難ナルヤニ察セララル一方
南京ニ樹立セラレタル新政府ハ逐次其ノ政治力ヲ増大シ來リツツアル
ノミナラス該政府ト帝國使臣トノ間ニ行ハレタル條約交渉ハ今ヤ政府
ニ於テ之カ採否ヲ決スヘキ時機ニ到達シアリ他方世界情勢ノ變化並之
ニ即應スル帝國世界政策ノ企圖遂行ノ爲メニハ帝國ノ國防軍力ノ恢
復強化ヲ必要トスルヤ切ナルモノアリ
帝國ハ此際戰ノ長期戰ヲ決意シ新政府ヲ承認シ其ノ政治力ヲ強化培養

0061

B5 タイプライター用紙

内閣

シテ之ヲシテ我カ方ノ專斷遂行ニ勵カセシムルノ方途ニ出ツルコト必
要ナリト認メラル
依ツテ政府ハ別紙條約案ニ對シ調印締結ノ手續ヲ執ラントスルモノナ
リ
尤モ條約調印後重慶ノ屈伏アルニ於テハ更ニ新ナル處斷ニ出ツヘキコ
ト勿論ナリ

内
閣

B5 タイプライター用紙

0062

REEL No. A-0216

103P
極秘

政府大本營間連絡會議ニ對スル條約案提出理由 (總理大臣ヨリ)

帝國ハ昭和十三年一月十一日御前會議決定ノ支那專變處理根本方針並
昭和十三年十一月三十日御前會議決定ノ日支新關係調整方針ニ基キ從
事重慶政権ニ對シ強烈ニ武力的壓力ヲ加フルニ方其ノ反省ヲ促シ依テ
日支支那ノ全面的屈伏ヲ強要スルニ其ノ場合ニ應ジテ
①新ナル政治勢力ノ育成ヲ企圖シ之ヲ實行シ來レリ
然ルニ現下ノ情勢ニ於テハ帝國ハ重慶政権ヲ蠲滅スルニ足ル陸上武力
進攻ヲ斷行セザル限り短期間ニ之カ屈伏至難ナルヤニ察セラルル一方
南京ニ樹立セラレタル新政府ハ逐次其ノ政治力ヲ増大シ來リツツアル
ノミナラス該政府ト帝國使臣トノ間ニ行ハレタル條約交渉ハ今ヤ政府
ニ於テ之カ採否ヲ決スヘキ時機ニ到達シアリ他方世界情勢ノ變化並之
ニ即應スル帝國世界政策ノ企圖遂行ノ爲メニハ帝國ノ國防彈發力ノ恢
復強化ヲ必要トスルヤ切ナルモノアリ

0063

帝國ハ此際長ノ長期戰ヲ決意シ新政府ヲ承認シ其ノ政治力ヲ強化培養
シテ之ヲシテ我カ方ノ專變遂行ニ協力セシムルノ方途ニ出ツルコト必
要ナリト認メラル
依ツテ政府ハ別紙條約案ニ對シ關印締結ノ手續ヲ執ラントスルモノナ
リ
尤モ條約關印後重慶ノ屈伏アルニ於テハ更ニ新ナル處置ニ出ツヘキコ
ト勿論ナリ

0064